

# かわさき部活動ガイドライン(案)の生徒への フィードバックに対する意見について

## (参考)

# かわさき部活動ガイドライン(案)の生徒へのフィードバックに対する意見について

実施期間 令和7年11月28日～令和7年12月25日

意見数 4校6件

- 対応区分 A 御意見を踏まえ、ガイドラインに反映したもの  
B 御意見の趣旨が案に沿ったものであり、御意見の趣旨を踏まえ、取組を推進するもの  
C 今後の取組を進めていく上で参考とするもの  
D 案に対する質問・要望の御意見であり、案の内容を説明するもの  
E その他

No.	意見要旨	対応区分	回答要旨
1	平日の活動時間2時間に朝練習時間を含めることが明確化されたのはなぜか。	A	アンケートで、全部活動の4割が朝練習を行っているという回答がある中で、学業との両立や疲労の蓄積などで困っている生徒が多かったため、より明確にしたところであるが、自主的に活動する時間があると良い、との意見もあったため、「朝練も含む」を削除し、「部活動全体で行う練習を2時間程度とする」ということを各学校の先生に伝える。
2	部活への考え方は人それぞれなので、人によって熱量が違うことは仕方ないが、ガイドラインの「取組の例」に書いてあると、実際に行う学校があるかもしれない。試合が計画されているのに、自分たちで引退を決めてしまい、チームの人数が足りなくなった場合、一生懸命に練習していた人が可哀そうである。	C	代表者会議でも「自分の意思を仲間に伝えることができない生徒がいる」との意見があったことから、部活動内でミーティングを重ねたり、お互いの意見を尊重した上で、参加スタイルを自分で決めることが大切だということを理解してほしい。 また、事前に話し合いを行うことで、その生徒が先に引退すると決めても、その後、続けたい生徒が試合に出られる環境を整えていくことが重要であると考えている。
3	「練習したい人のために自主練習日を設ける」について「安全を確保した上で」とあると、結局先生たちの負担が増えることにならないか。	B	学校内で練習をする場合には先生方に安全を確保してもらう必要がある。 自主練習日を設けながら先生方の負担を減らすためには、全体の活動日に自主練習日を設定して、生徒同士でも安全に活動するにはどうしたら良いか考えながら活動することも可能なので、生徒同士や顧問の先生とよく相談した上で、実施してほしい。

(参考)

## かわさき部活動ガイドライン(案)の生徒フィードバックに対する意見について

No.	意見要旨	対応区分	回答要旨
4	<6 地域との連携等> 協力体制の例や小学生との交流の具体例が挙げられているが、「地域との交流」についての具体策もあった方が良い。	C	具体策については、まずは地域の方に指導者になってもらえるよう、環境を整えていきたいと考えているが、その他についても地域との交流が広げられる取組について検討する。
5	<4 バランスのとれた活動の運営> 通常の部活動における活動時間は示されているが、週末の大会や大会が続いた場合(活動時間が平日2時間、休日3時間程度を超える場合)の具体的な時間(目安)も示したほうが、ガイドラインを守りやすいと思う。	B	大会やコンクールについては、部活動によって試合時間等が違うので、大会等で長時間活動した場合は、必ず他の日に振替日を設定するようにした。
6	フィードバックで魅力的に感じたもの ・部への参加スタイルを自分で決めることができる(3名) ・自分たちでメニューを決めることができる(3名) ・みんなで活動しやすくなるような取り組みをする(2名) ・いろいろな練習方法を取り入れる(1名) ・ミーティングを大切に1人ひとりの意見を反映させる(1名) 部長会としては、GIGA端末のクラスルームを活用して部活動の意見集約、活動報告などを行い、部長の役割の(負担)軽減を図っていきたい。その分、部長を含めた部員が部活動に所属して「良かった」と思える環境づくりに努めていきたい。	E	代表者会議の意見を自分たちのこととして主体的に考えてくれたことが伝わったので、他の学校にも共有する。 また、GIGA端末での意見集約や活動報告は有効であると思うので、これからも生徒主体の環境づくりを応援する。